

# 県の取組事例

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会  
福井県管理河川 嶺南ブロック減災対策協議会

令和8年 2月12日

- 令和5年度出水期から「ふくい県域タイムライン」を運用
  - ・ 災害時に関係機関が危機感を共有する体制を構築し、災害に対する早期の準備や避難指示等の迅速な意思決定につなげるため、国、県、市町、報道機関などが連携し、危機感を共有するタイムラインを運用している。
- タイムラインの策定部会や勉強会、WEB危機感共有会議の開催
  - ・ 令和7年度は、策定部会を2回、防災気象情報や河川・ダム情報等に関する勉強会を3回、出水が見込まれる場合、情報共有を目的としたWEB危機感共有会議を3回開催し、連携の強化や防災対応の向上を図った。

- WEB危機感共有会議 (8/6, 8/10~11)
  - ・ 台風の接近や大雨が予測される場合、関係機関がWEB上で一堂に会し、気象や河川情報などを共有



- 策定部会 (5/8, 12/18)
  - ・ タイムラインの机上訓練
  - ・ 令和7年度運用のふりかえり など



令和7年5月8日撮影

- 情報共有プラットフォーム
  - ・ 状況の把握を迅速化するために気象情報や水位、河川監視カメラの情報を集約



## 勉強会

開催日	内容	説明者
4月14日	ふくい県域タイムラインについて	福井河川国道事務所
	ステージ移行に係る防災気象情報	福井地方気象台
	危機管理型水位計について	福井県砂防防災課
8月27日	河川、ダムに関する情報について	河川:福井河川国道事務所、福井県砂防防災課 ダム:九頭竜川ダム統合管理事務所、福井県河川課
10月 3日	福井県に影響を及ぼす台風の特性	福井地方気象台

## ○ 河川や土砂災害などの危険情報を配信

- 雨量や河川水位の情報、土砂災害の恐れの高まり、気象情報等をメールでお知らせ
- 配信を受けるには登録が必要のため、県ホームページや出前講座等で利用促進

## ○ 雨量、河川水位、河川監視カメラ映像などの情報提供

- 迅速な住民避難や水防活動に繋がるよう、県ホームページ「福井県河川・砂防総合情報」で情報提供
- 防災情報をどこでもわかりやすく入手できるよう新たにスマートフォンに対応した画面の構築

### ■ i-ameメール配信内容

- 水位が基準値(氾濫危険水位や避難判断水位等)に到達したとき
- 雨量が警戒値(時間20mm、時間30mm、24時間80mm)に達したとき
- 土砂災害が高まり、土砂災害警戒情報を発表したとき
- 県管理河川5河川(足羽川、笙の川、日野川中流、竹田川、南川)で洪水の恐れが高まったとき 等

**大雨などの際はリアルタイムで確認!**  
「水位・雨量情報」はここから!

福井県 河川・砂防総合情報 <https://sabo.pref.fukui.lg.jp/>

福井県では水位・雨量情報、土砂災害警戒情報、河川カメラ画像などをインターネットから配信しています。早期の防災情報収集にご活用ください。



### 携帯サイトからの情報

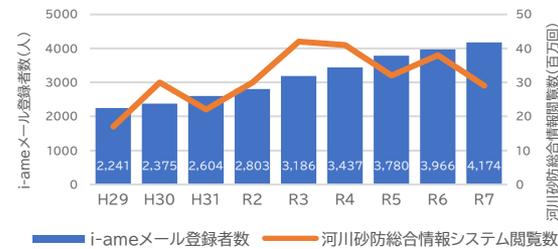
<http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/>

様々な情報を、外出先からでも確認できます。リアルタイムで河川や土砂災害の危険情報を知ることができます。i-ameメール配信も可能です。

川の防災情報 (全国版)

<http://www.river.go.jp/>

### ■ 登録者数と閲覧数



### i-ameメール (福井県河川・砂防総合情報メール)

携帯・スマホに 河川や土砂災害の危険情報を リアルタイムでお知らせ 危険を感じたら早めの避難を!

**配信される情報** ※ 情報の種類、対象市町は登録時に選択できます。

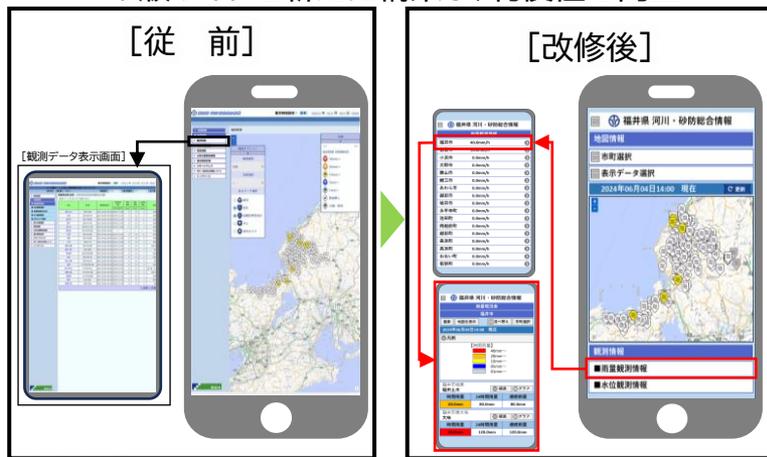
- 洪水予報** 県管理の5河川(足羽川、笙の川、日野川中流、竹田川、南川)について洪水の恐れが高まり、県と福井地方気象台が共同で洪水予報を発表したとき、メールが配信されます。
- 水位** 観測された水位が基準に達したとき、メールが配信されます。
- 土砂災害警戒情報** 土砂災害の恐れが高まり、県と福井地方気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表したとき、メールが配信されます。
- 雨量** 観測された雨量が警戒値に達したとき、メールが配信されます。
- 気象警報等** 福井地方気象台が気象注意報、警報、特別警報を発表したとき、メールが配信されます。

**登録方法** i-ameメール で検索

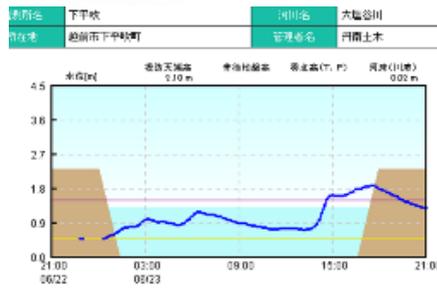
<http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/>

### ■ スマートフォンに対応した防災情報の提供

- [従前] データ選択の度に拡大・縮小の操作が必要
- [改修後] スマホ版サイトを新たに構築し、利便性を向上



### ● 水位情報



### ● カメラ画像



- 要配慮者利用施設における避難確保計画作成状況は、概ね100%となっている一方で、避難訓練の実施率が低い状況
- 国と県では、洪水時等の円滑かつ迅速な避難確保のため、講習会等の開催により、市町とともに避難訓練の実施を支援（4市町 93施設 133名参加）

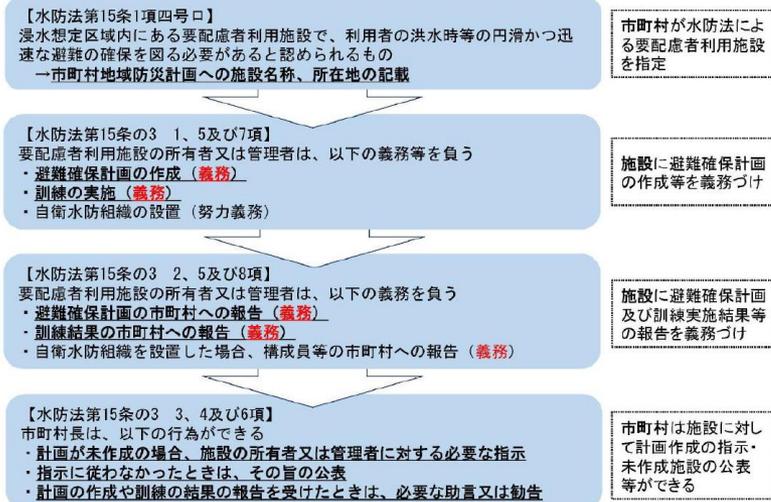
## ■ 要配慮者利用施設の避難訓練に係る講習会

- ① 避難訓練の必要性について（開催市町）
- ② 防災気象情報について（福井地方气象台）
- ③ 避難行動計画作成、意見交換（参加施設職員、国・県・市町）

開催市町	開催日	開催場所	参加施設数	参加人数
大野市	令和7年6月13日(金)	大野市文化会館	27	36
越前市	令和7年6月30日(月)	越前市アイシンスポーツアリーナ	39	61
坂井市	令和7年7月28日(月)	坂井市役所	25	33
美浜町	令和7年7月23日(水)	美浜町役場	2	3

## 水防法上の義務

### 要配慮者利用施設に係る水防法上の義務等



開催状況（大野市）



開催状況（越前市）



開催状況（坂井市）



- 主に小中学校を対象に出前講座を開催 (22団体)
- 国や福井県、NPO法人ドラゴンリバー交流会(河川協力団体)などが共同で、福井市みのり地区の住民を対象にマイ・タイムライン作成を支援するワークショップを開催 (計3回)

## ■ 出前講座開催

### テーマ「土砂災害、水害から身を守るには」

- ・ 洪水や土砂災害について、過去の被災写真で説明
- ・ 浸水被害を防ぐための河道改修やダム整備を紹介
- ・ 洪水ハザードマップや土砂災害危険区域、防災気象情報の確認方法を紹介

## ■ 出前講座開催状況



開催日	開催市町	対象者	参加者数	説明者等
R7.5.24	おおい町	大島半島自主防災組織	151名	砂防防災課
R7.7.8	坂井市	長畝小学校 5年生	43名	三国土木事務所
R7.7.10	越前町	越前小学校 5年生	24名	鯖江丹生土木部
R7.8.25	敦賀市	敦賀市黒河児童クラブ	24名	敦賀土木事務所
R7.9.17	福井市	鴉小学校 4年生	25名	福井土木事務所
R7.10.2	福井市	学校法人 大原学園	37名	砂防防災課
R7.10.24	福井市	酒生小学校 5年生	23名	福井土木事務所
R7.10.24	鯖江市	進徳小学校 5年生	41名	鯖江丹生土木部
R7.10.28	福井市	清水北小学校 5・6年生	25名	福井土木事務所
R7.10.28	坂井市	平草小学校 5年生	40名	三国土木事務所
R7.11.4	越前市	国高小学校 5年生	119名	砂防防災課
R7.11.6	勝山市	北郷小学校 1～6年生	63名	奥越土木事務所
R7.11.8	福井市	西藤島小学校 1～6年生	237名	福井土木事務所
R7.11.16	永平寺町	防災会員	9名	砂防防災課
R7.11.18	越前町	萩野小学校 4年生	7名	鯖江丹生土木部
R7.11.20	若狭町	三宅小学校 5年生	12名	小浜土木事務所
R7.11.26	越前市	南越中学校 1～3年生	217名	丹南土木事務所
R7.11.26	おおい町	本郷小学校 5年生	29名	小浜土木事務所
R7.11.26	勝山市	三室小学校 1～6年生	30名	奥越土木事務所
R7.11.26	福井市	川西中学校1～3年生	128名	福井土木事務所
R7.12.10	福井市	福井特別支援学校 中等部	14名	砂防防災課
R7.12.11	越前町	丹生高等学校 1年生	116名	砂防防災課
		22 団体	1,414名	

## ■ ワークショップ（福井市みのり地区）

- ・ 水害や土砂災害に備えて、住民全員が安全に避難できる地域となるよう、「いつ・誰が・何をするのか」を話し合うことを目的に、全3回構成でワークショップを開催した。
- 令和7年7月27日(日)
  - ・ 地域の水害リスクの確認
  - ・ マイ・タイムライン作成
- 令和7年8月31日(日)
  - ・ 地域での共助を考える
  - ・ 地域全体の避難行動を考える
  - ・ コミュニティ・タイムライン作成
- 令和7年9月28日(日)
  - ・ 地域の危険箇所を確認する
  - ・ 避難場所への避難ルートを考える
  - ・ まち歩き結果整理と情報共有



## ○ 水位計および河川監視カメラの増設

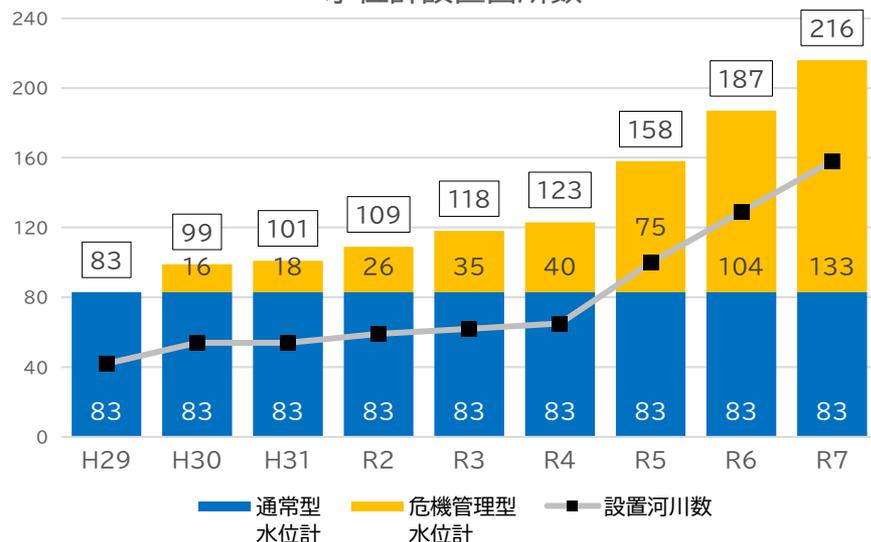
### 【水位計】

- 県管理河川191河川のうち、住宅等に浸水のおそれがある158河川を優先して設置
- 令和7年度には29河川(29箇所)の増設により、住宅等に浸水のおそれがある158河川全てに設置

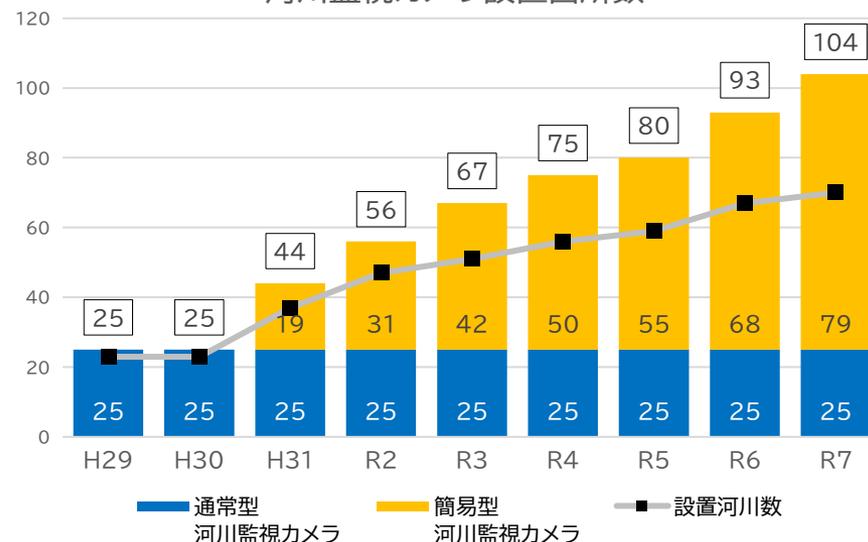
### 【河川監視カメラ】

- 過去に浸水被害を受け地域防災活動への活用に要望がある箇所を優先して設置
- 令和7年度には10河川(11箇所)の増設

水位計設置箇所数



河川監視カメラ設置箇所数



## ○ 水位計および河川監視カメラの設置箇所数

		H29年度まで	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
水位計	箇所数	83	99	101	109	118	123	158	187	216
	河川数	42	54	54	59	62	65	100	129	158
河川監視カメラ	箇所数	25	25	44	56	67	75	80	93	104
	河川数	23	23	37	47	51	56	59	67	70

## ○ 重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検

- ・ 河川管理者と関係市町等と共同で重要水防箇所\*の点検を実施し、水防活動や住民避難に活用
- ・ 県管理区間における重要水防箇所は、35河川約245km(左右岸の計)

\* 重要水防箇所とは、堤防の決壊、漏水、川の水があふれる等の危険が予想される箇所であり、洪水等に際して水防上特に注意を要する箇所  
 例えば、計画高水流量規模の洪水の水位が現状の堤防高を超える箇所や新堤防・破堤跡・旧川跡などが該当

### ■ 重要水防箇所一覧(県管理区間)

■ 量水標の確認  
 九頭竜川(勝山市遅羽町比島)



■ 新堤防箇所(野木川)の確認



■ 越水等が予想される箇所の確認  
 九頭竜川(勝山市)



■ 越水等が予想される箇所の確認  
 足羽川(池田町)



### ■ 重要水防箇所一覧(県管理区間)

番号	河川名	延長(km)	番号	河川名	延長(km)
1	九頭竜川	3.3	21	天神川	2.6
2	日野川	4.3	22	和田川	10.6
3	足羽川	36.2	23	天王川	9.9
4	志津川	11.2	24	織田川	2.4
5	江端川	1.6	25	笙の川	9.1
6	七瀬川	3.1	26	木の芽川	6.4
7	竹田川	15.7	27	井の口川	9.4
8	兵庫川	22.2	28	久々子湖	4.0
9	北潟湖	2.2	29	水月湖	1.6
10	清滝川	5.2	30	菅湖	1.4
11	赤根川	8.4	31	三方湖	7.4
12	日詰川	1.4	32	南川	19.6
13	畝見川	2.0	33	江古川	4.0
14	大蓮寺川	3.0	34	多田川	1.2
15	吉野瀬川	9.6	35	野木川	1.2
16	服部川	3.6		合計	245.0
17	大塩谷川	2.8			
18	浅水川	5.7			
19	鞍谷川	8.2			
20	河和田川	4.5			

※ 表示値は四捨五入処理を行っているため、合計値と一致しない場合があります。

- 排水ポンプ車を用いた排水訓練の実施 <足羽川河川敷>
  - ・ 出水期前に訓練を行うことで、排水ポンプ車の出動を要する事態になった際、迅速に対応できるよう車両の仕様や出動手続きの手順を確認
- 排水ポンプ車を用いた排水訓練の実施 <福井県総合防災訓練>
  - ・ 夜間等の視界の悪い条件でも迅速かつ安全に作業を行えるよう、福井河川国道事務所の照明車と連携しながら、浸水被害を想定した排水訓練を実施

## ■ 訓練概要

### ○ 令和7年度 排水ポンプ車操作訓練

日時： 令和7年6月11日(水)午前10時～11時  
場所： 福井市豊島2丁目 足羽川河川敷(荒川合流点付近)  
内容： 排水ポンプ車(県:2台)で排水作業を実施

### ○ 令和7年度 福井県総合防災訓練

日時： 令和7年11月8日(土)午前8時半～11時半  
場所： 越前市余田町 丹南総合公園  
内容： 排水ポンプ車(県:1台)で排水作業を実施  
照明車(国:1台)による点灯を実施

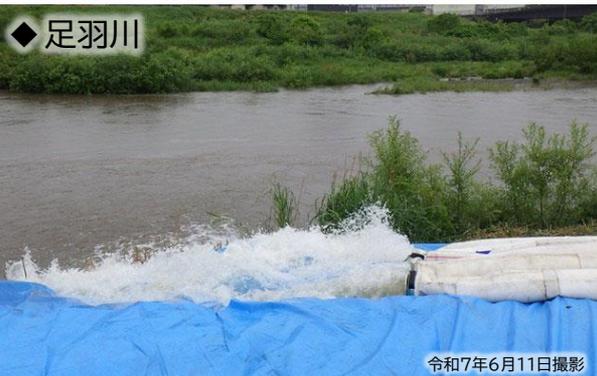


←  
排水作業と  
照明点灯の様子  
(福井県総合防災訓練)  
↓

排水の様子(排水ポンプ車操作訓練)

訓練参加車両(排水ポンプ車操作訓練)

◆ 福井県総合防災訓練



- 地震や豪雨などにより公共土木施設が被災した場合に、(公財)福井県建設技術公社が「災害復旧アドバイザー」を現地に派遣し、災害復旧活動の支援・助言をボランティア活動として実施
  - ・ 令和4年8月の大雨の際、南越前町へ現地調査や設計照査を支援

## ■ 活動事例（令和4年8月の大雨）

- 災害調査に関する技術的助言等
  - 現地調査・測量等の実施
    - ・ 必要に応じて現地調査や簡易測量を実施し、復旧計画に必要な情報を収集
  - 被災範囲および起終点の設定に関する助言
    - ・ 被災箇所の範囲を適切に把握し、起終点の設定について
  - 被災原因の把握および復旧方針に関する助言
    - ・ 災害の原因を調査・分析し、復旧の方針について



現地調査

## ■ 支援体制の整備

- 災害復旧アドバイザーの認定・登録
  - ・ 災害復旧制度を熟知し、災害発生時に速やかに現地に参集し、技術的助言が可能な者※を(公財)福井県建設技術公社が認定・登録
    - ※ 県土木OB・福井県建設技術公社技術職員
  - ・ 現在、26名の災害復旧アドバイザーを登録



現地調査

## ○ 設計図書に関する照査

- 復旧工法の妥当性
  - ・ 被災原因の除去となるための復旧工法になっているか確認
- 技術基準との整合性
  - ・ 選定した復旧工法が、技術基準書等と整合しているか確認
- 申請資料の確認
  - ・ 「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」等の関係法令に基づき、作成されているか確認

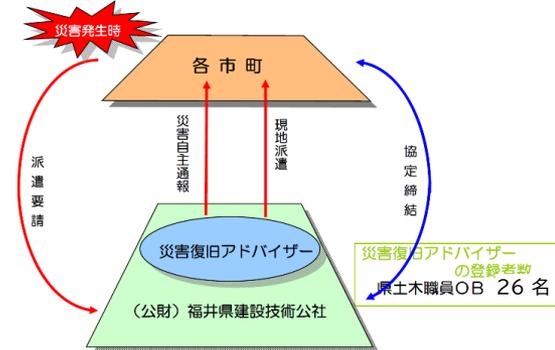


設計図書の照査

## 災害復旧アドバイザー派遣について

災害復旧アドバイザー派遣とは

地震や豪雨などにより公共土木施設が被災した場合に、県内市町からの要請に基づき、公共土木施設の整備や維持管理の経験、知識を有する「災害復旧アドバイザー」(県土木職員OB、福井県建設技術公社技術職員)を現地に派遣し、災害復旧活動の支援・助言をボランティア活動として行います。



## 災害復旧アドバイザーの役割

アドバイザーの皆さんには、災害発生後、居住地域の市町を活動地域としていただき、そこで市町職員の補助として、コンサルタントへ助言することを基本とする。助言の内容は下記のとおりとする。その他、身の回りの災害情報について、自主的に状況報告を行う。

- ・ 災害復旧工法についてのアドバイス
- ・ 災害復旧申請時の写真についてのアドバイス
- ・ 災害範囲の起終点設定についてのアドバイス など

災害復旧アドバイザー派遣に関するお問い合わせは

(公財)福井県建設技術公社  
〒910-0003 福井市松本 3-16-10 福井合同庁舎 5F  
TEL 0776-20-0393 FAX 0776-21-3934  
担当 業務課 藤田まで

災害復旧アドバイザー登録者数 (R7.4時点)

